

1月18日 「お年寄りと子どもの ふれあい広場」 ボランティア

この日、土岐小学校において「お年寄りと子どものふれあい広場」が開催されました。ミニSL、けん玉、こま、ペンシルバルーンなどを通して、お年寄りと子どもたちが交流するイベントです。



地域のお年寄りがそれぞれのブースに分かれ、子どもたちを楽しませる準備をしていました。すると、子どもたちが徐々に集まり、体育館がにぎわようになってきました。小さな子どもたちは親子でやってきて、楽しそうにそれぞれのブースでお年寄りと言葉を交わしていました。

そんなふれあいのひとときを、瑞浪北中学校の3名の生徒がお手伝い。一人はインフルエンザのために参加できませんでしたが、その子の分も、他の二名が一生懸命がんばり、お年寄りや子どもたちに笑顔で接しました。

中学生ボランティアが担当するのはペンシルバルーン。どんどん集まってくる子どもたちのために、バルーンでいろいろ作ってみせたり、「赤色がほしい！」と言ってきた子に優しく手渡したりして、子どもたちと楽しくふれあいました。

時間が空いたときには、作り方の説明書を読んで、トンボを初めとする生き物をペンシルバルーンで作る研究熱心さも見られました。

約2時間の短いボランティアでしたが、多くの人との関わりがたくさん生まれたほのぼのとした時間となりました。

